

第 5 回経営顧問会議 議事概要 (案)

1. 日 時 : 令和 2 年 11 月 6 日 (金) 13 : 30 ~ 15 : 00

2. 場 所 : 東京事務所 役員会議室他

3. 出席者 :

経営顧問会議

議長 吉川 弘之	科学技術振興機構 CRDS 特任フェロー
石田 寛人	本田財団 理事長
大庭 三枝	神奈川大学 教授
北村 正晴	テムス研究所 代表取締役・所長
田中 伸男	笹川平和財団 顧問
松本 紘	理化学研究所 理事長
真砂 靖	西村あさひ法律事務所 弁護士
向殿 政男	明治大学 顧問・名誉教授
(欠席 池辺 和弘	電気事業連合会 会長)

原子力機構

児玉 敏雄	理事長
伊藤 洋一	副理事長
青砥 紀身	理事
三浦 幸俊	理事
山本 徳洋	理事
野田 耕一	理事
須藤 憲司	理事
吉田 邦弘	理事
田中 輝彦	監事
天野 玲子	監事

4. 議 題：

- (1) 挨拶及び機構の昨年度からの動きについて
- (2) 第4回議事概要(案)確認
- (3) 第4回経営顧問会議におけるご意見への対応について
- (4) 原子力機構の取組
- (5) 意見交換
- (6) 閉会挨拶

5. 配布資料：

- 資料 5-1. 機構の昨年度からの動きについて
- 資料 5-2. 第4回議事概要(案)
- 資料 5-3. 第4回経営顧問会議におけるご意見への対応について
- 資料 5-4. 将来ビジョン「JAEA 2050+」及び将来ビジョンの実現に向けた取組みについて
- 資料 5-5. 業務改善・効率化の取組みについて

6. 会議概要：

会議では、理事長から資料 5-1 に基づき機構の昨年度からの動きについて説明が行われた。また、資料 5-2 に基づき第4回議事概要(案)について確認が行われ、原案どおり了承された。次に、事務局から資料 5-3 に基づき第4回経営顧問会議におけるご意見への対応について報告を行った。その後、副理事長から資料 5-4 に基づき将来ビジョン「JAEA 2050+」及び将来ビジョンの実現に向けた取組みについて、大和矢理事長首席補佐から資料 5-5 に基づき業務改善・効率化の取組みについて説明した。これらを受けて、各委員から多角的なご意見及びご指摘を頂いた。

7. 主なご意見及びご指摘：

【将来ビジョン「JAEA 2050+」及び将来ビジョンの実現に向けた取組みについて】

- JAEA は、旧原研と旧動燃が統合し、今日までいろんな問題を解決しながら歩んでおり、過去の改革の努力は無駄ではなかったと思われる。今後、新しい原子炉開発などに取り組んでいくためには、実際の炉に触らないと JAEA の存在意義が薄れるのではないかと感じる。また、原子力に関しては、何を聞かれても相応の対応ができる JAEA であり続けて頂きたいと願っている。
- カーボンニュートラルの取組を拠点単位で進めることが有効ではないか。

【ジェンダーバランスについて】

- 原子力及びエネルギー分野は、とくに女性の活躍が少ないセクターである。安全に対する感度が高い女性ができるだけ多くの場面に参加できるよう、マネジメントにおいてジェンダーバランスを改革・改善していくことが必要ではないか。

【理事長裁量経費について】

- 理事長の裁量経費で萌芽的な研究を始めていることは心強い。また、他の機関と合同で基礎研究を実施する仕組み等もつくと、新しい研究テーマが生まれ、他機関との協力関係が広がるのではないか。

【研究開発の進め方について】

- エネルギー問題は安全性が重視されることから、fail safe である小型原子炉の研究を世界に発信することにより、説得力が生まれる。また、原子力はエネルギー以外の応用が多々あることから、広く使われて社会の役に立っていることをわかりやすく発信することで、機構の社会的な存在意義を理解してもらいべきである。

【業務改善・効率化の取組みについて】

- 業務のスリム化を図るため、無駄を排除して効率化を図るとしているが、新しい分野へ取り組む人材、部署はどこになるのか、単純にスリム化を進め、IT 化などにより人員を削減していくのか。

- さらなる横通し連絡会の追設に向けてどのような形で具体的に活性化し、実効性を持たせていくのか。

【会計検査院からの指摘事項について】

- 昨年 11 月に会計検査院から受けた指摘の内容および、再発防止策を教えてください。

以 上